

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

熊本県立劇場は、音楽、演劇、舞踊等の舞台芸術活動を中心とした芸術文化及び地域文化の振興のための事業ならびに、優れた舞台芸術を広く提供する事業を行い、地域と県民の福祉及び文化の向上に寄与することを目的とする。
熊本県をはじめ市町村、熊本県文化協会、その他県内文化団体や教育委員会等の関係機関やアーティスト、主催者、県民等、すべてのステークホルダーの満足度や利益が最大化されるように事業を推進するとともに、公平公正で透明性の高い管理運営を行い、世代を超えても続く「持続的な芸術文化のまちづくり」のために、地域の芸術文化の拠点としての役割を果たしていく財団を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	芸術的な創造に積極的に関与し、すべての県民へより質の高い芸術文化を届けるために、文化的・芸術的な価値を享受できる環境を整備する。	・実演芸術の振興のため、裾野の拡大を目指す 先行予約会員数 2023年14,980名→2026年17,341名(毎年度5%増) 初来場・鑑賞者数 2021年～2023年205名→2024年～2026年220名 ・県民の文化芸術活動の拡大と、鑑賞活動の充実を目指す 鑑賞者等満足度 2021年～2023年97.4%→2024年～2026年98%
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	芸術文化を担う人材の育成及び確保と、地域文化の振興のために関係機関との連携を強化する。	・継続して人材育成事業を実施、内容の充実を目指す 実施回数(年間) 2023年8回→2026年9回以上 受講者満足度 2021年～2023年97.6%→2024年～2026年98%以上 ・連携協定先を増加させ、積極的に連携事業に取り組む 2021年～2023年3事業(年平均)→2024年～2026年4事業以上(年平均)
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	多様な人材が活躍でき、柔軟に働ける職場環境の構築・整備を進めると同時に、省資源の推進を図る。 継続的・安定的な運営体制を確保する。	・ペーパーレス化による紙資源の使用量を削減する 2023年279,363枚→2026年265,300枚(5%減) ・安定的な雇用制度を確立し、専門職員を確保することを目的に、年齢を問わない中途採用を実施する。 2024年～2026年までに2人以上

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標**を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

熊本デザイン専門学校、平成音楽大学、熊本大学教育学部、熊本交響楽団との連携協定をベースに、引き続き実演芸術家の育成や芸術文化の教育等について連携して取り組む。
熊本県内の公立文化ホールをはじめ福祉、教育、経済分野とのパートナーシップをさらに進展させ、実演芸術の普及の拡大に努めるとともにSDGsの意識の浸透を進める。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	芸術的な創造に積極的に関与し、すべての県民へより質の高い芸術文化を届けるために、文化的・芸術的な価値を享受できる環境を整備する。	実演芸術の振興のため、裾野の拡大を目指す →新規顧客数：毎年度5%超 県民の文化芸術活動の拡大と、鑑賞活動の充実を目指す 鑑賞者・参加者満足度：97%以上
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	新しいチケットシステムを導入し、新規顧客の増加に努めた結果、チケットシステム先行予約会員数は2021年から102%増加となった。また、アンケート結果より初めて県立劇場に来館した人は、3カ年の平均で17.2%。鑑賞者満足度も各年度高く、3カ年の平均で97.4%といずれも目標を達成することができた。	チケットシステム先行予約会員数 2021年→7,395人 2023年→14,980人 初来場者/アンケート回答者 2021年→75/635人(11.8%) 2022年→331/1,478人(22.3%) 2023年→211/1,192人(17.7%) 鑑賞者満足度(自主文化事業) 2021年→5事業(平均96.8%) 2022年→6事業(平均97.4%) 2023年→8事業(平均98.1%)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	芸術文化を担う人材の育成及び確保と、地域文化の振興のために関係機関との連携を強化する。	・継続して人材育成事業を実施、内容の充実と回数の増を目指す →受講者満足度95%以上 ・連携協定先を増加させ、積極的に連携事業に取り組む →2021年(予定)3事業 2023年6事業
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	引き続き人材育成事業を実施し、多くの受講者が各プログラムを受講し、満足度も97.6%と目標を達成することができた。また各連携協定先と積極的に事業に取り組むことができ、3カ年で9事業を達成することができた。	劇場人育成プログラム 計25回実施(R3-R5) 受講者満足度 2021年→93% 2022→98% 2023年→99% 舞台技術の基礎講座 計3回実施 受講者満足度 2021年→96% 2022→100% 2023年→100% ・平成音楽大学 ①平成音楽大学プラスオーケストラ(共催)2023.6.15 ・熊本デザイン専門学校 ②③明後日朝顔プロジェクト(協力)2022年.2023年 ④第64 回熊本県芸術文化祭スペシャルステージ ONE PIECE×人形浄瑠璃清和文楽 「超馴鹿船出冬校」(衣装制作協力)2022.11.5-6 ⑤肥後アマビエ戀歌異聞(衣装制作協力)2021.3.20 ⑥⑦情報回廊展示制作2022.2023 ・熊本大学教育学部 ⑧劇場って楽しい!!(学生研修参加)2023.6.10 ⑨ハワイエサロンコンサートVol.7「現代音楽」(共催)2023.9.1
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	多様な人材が活躍でき、柔軟に働ける職場環境の構築・整備を進めると同時に、省資源の推進を図る。 継続的・安定的な運営体制を確保する。	・ペーパーレス化による紙資源の使用量を2023年までに10%減 ・多様な財源の確保により安定的な事業展開を行う ・安定的な雇用制度を確立し、専門職員を確保する ・年齢を問わない中途採用を実施する→2021年未実施 2023年実施
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	ペーパーレス化の目標を掲げ、職員に通知して達成に向けて取り組んだが、使用枚数を減らすことはできなかった。コロナ禍を経て、催事件数等の増加に伴い業務量が増えたためだと推察される。過去年間で40万枚を超えていた年もあったため、減少傾向にはあるが目標の達成には至らなかった。多様な財源の確保については、複数の助成金事業に申請し、3カ年で12団体(重複有)から助成金を獲得することができた。また、職員についても採用計画に基づき中途採用を実施し、年齢を問わない採用を達成することができた。	コピー使用量 2021年→263,044枚 2022年→307,493枚 2023年→279,363枚 助成金実績 2021年→4団体 (一財)地域創造、(独)日本芸術文化振興会、熊本県、文化庁 2022年→4団体 (社)熊本県観光連盟、(独)日本芸術文化振興会、文化庁、(公社)全国公立文化施設協会 2023年→4団体 サービス等生産性向上IT導入支援事務局、(一財)地域創造、(公社)全国公立文化施設協会、(独)日本芸術文化振興会 職員の採用 2023年→正職員2名、 契約職員1名

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。